

連載1 最近の KAIR  
(神山アーティスト・イン・レジデンス)



Quynh Vantu クウィン・ヴァンツー 《境界・内と外》2015

先月号で紹介させていただいた、クウィンの作品の桜が満開になりました。KAIRで作品を作る時、室内、屋外、常設、期間限定に限らずアーティストの提案を元に展示場所を一緒に探します。クウィンのときも、お父さん役の森さんと町の中を散策し、選んだのは駐車場の片隅にあるゲートボール場。一角を石垣に囲まれ、春になると桜が緑を彩る素敵な場所。作品が加わることで、それまであまり人が気にとめなかったような場所の空気が、ふわりと変わったように感じました。

できあがったのは縁側のような、茶室のような、訪れた人が一息つけるような空間。お天気の良い日は縁側に座っているかのように暖かく、少し日差しが強くなると影で一体みもできます。作品には「風のハーブ」が仕込まれていて、風が吹いた時には耳を澄ますと音が聞こえるのです。

来年は桜の下でお花見ができますように。



2015年にKAIRに参加した後も、継続的に神山を訪れている彼女のインタビュー記事が「イン神山」の特集に掲載されています。  
<https://www.in-kamiyama.jp/feature/feature-1/45468/>



連載3 ほんのひろば

おうちで過ごす皆さんに

今月は各都道府県から集められた日本の家庭料理のレシピ集から2冊を紹介します。『小麦 いも 豆のおやつ』では山梨県の「もちこしだんご」が、『そばうどん粉もの』では富山県の「大門素麺」が気に入りました。私、トウモロコシ粉と小エビが好きなんです。もちろん四国の料理も載っています。同じ四国でも気候風土や水が豊富にあるかどうかで素材が全然違って興味深いです。レシピも読みやすいのでどうぞご覧ください。

【お願いです】改善センターに来られましたら、手洗い→擦付のペーパータオルで手をよく拭く→玄関のアルコールで消毒をしたのち、ほんのひろばに入っていただきますようお願いいたします。



神山のサポートについて  
グリーンバレーの活動は、皆様からのご支援によって支えられています。私達の活動趣旨にご賛同いただき、暖かいご支援をぜひお願いいたします。

詳しくは以下のページをご覧ください。  
<https://www.in-kamiyama.jp/donation-to-greenvalley>

連載2 GV ニュース

KVSOC(コンプレックス)の本領発揮？！

GEEK(オタク)の集まる場所、それがKVSOC(神山バレー・サテライトオフィス・コンプレックス)。彼らならではの「新型コロナウイルス感染拡大防止策」に取り組みました。課題があるなら、解決しちゃえ！とのことで、早速新しいギアが導入されました。コロナ禍が落ち着いたら、ぜひ実際に見に来て下さい。



① タッチレスアルコール除菌機  
コンプレックスをご利用の皆さま、手洗いと共に、入館時・在館中のアルコール除菌の徹底にご協力をよろしくお願い致します。このハンズフリー除菌機は3月に神山で開業した神山電子さんが作ってくださいました。赤外線センサーに手をかざすと自動でノズルがブッシュされてアルコールがスプレーされます！



② ドアノブハンズフリー化アダプター  
メンバーの本橋さんがDIYしてトイレのドアノブに取り付けてくれました。コンプレックス内「Kamiyama Makerspace」の3Dプリンターで出力しています。ドアを引く時にひじを使ってトライしてみてくださいね。KVSOC Facebookページの動画で使い方を見られます。

これらギアの「ものづくり」に関するお問い合わせ：  
① タッチレスアルコール除菌機：神山電子さん (info@kamiyamadenshi.com)  
② ドアノブハンズフリー化アダプター：本橋さん (make@degisiki.com)

連載4 GV メンバーリレー

市脇 和江

(指定管理/ほんのひろば担当)

4月下旬の神山町の様子についてお知らせします。

ふきの葉が立派に育ちました。今が食べごろです。枝垂れ桜とソメイヨシノはみずみずしい葉桜へと姿を変え、今は八重桜が満開になりつつあります。山桜前線はあちこちの山を下から上へと移動し続けており、その山桜を広葉樹の芽吹きが追いかけています。庭木ではツツジが咲き始め、濃い赤紫のハナズオウと真っ白なリキュウバイは満開、アメリカハナミズキは開花に向けて日に日に成長を続けています。草花は、樹下ではシャガが満開、道端にスマイルとれんげが咲き、緑の草地でタンポポときんばうげの黄色が光っています。日向の花の上をモンシロチョウやモンキチョウがくると飛んでいます。蚊も飛び始めました。春は初夏に向け刻々と進んでいます。



表紙「霜止出苗」

撮影：生津勝隆

多種多様な緑色が、こんもりとした山並みを眩しく彩る新緑の季節。「広野富士」の愛称で親しまれる須賀山中腹より、広野・五反地方面を望む。



発行/お問い合わせ  
認定特定非営利活動法人グリーンバレー  
<https://www.in-kamiyama.jp/npo-gv/>  
MAIL: greenvalley@in-kamiyama.jp  
〒771-3310 徳島県名西郡神山町神領字中津 132  
TEL: 088-676-1178  
(編集：ニイチトセ)



認定NPO法人グリーンバレーに携わる人たちの想いを伝えるニュースペーパー「グリーンバレージャーナル」

# GREENVALLEY JOURNAL

May 2020 vol.08

日本初のアドプト・プログラム「アドプト・ア・ハイウェイ」



# ニコライさんと 「アドプト・ア・ハイウェイ」 ～ 日本初のアドプト。この町をわが子のように想う ～



5月号では、認定NPOグリーンバレー (GV) の中核を成す事業のひとつ「アドプト・ア・ハイウェイ」とそのキーパーソン「ニコライさん」の特集です。

神山では「芸術」と「環境」の2本柱を中心として、様々な活動が自発的に生まれ、結果的に生きた町づくりが行われています。1991年の青い目の人形「アリス里帰り」実現後、町民有志が中心となり「神山町国際交流協会 (GV前身)」を発足させました。そうして30年近く、議論を重ねて、様々な施策を試行錯誤し続けています。でも、神山の中心は人。「芸術」や「環境」などの概念がメインコンテンツなのではなく、実際にその実現のために手足を動かしている「人」が主役です。人が次々と新しい活動を生み出し、新しい人を魅了しています。そして「アドプト」と言えば「ニコライさん」。そのニコライさんにお話を聞きました。(写真：生津勝隆)

## ▲「アドプト・ア・ハイウェイ」？

1985年にアメリカのテキサス州道路局が高速道路周辺のごみ清掃を沿道住民に依頼した「アドプト・ア・ハイウェイ」というプログラムが起源。この「アドプト (adopt)」という言葉は「養子にする」という意味の英語です。欧米のセレブ等のニュースでよく耳にする「アドプト」は、「アドプト・ア・ドッグ」という風に、里親として保護施設から犬や猫を家族に迎え入れる時にも慈しみを持って使われます。国や地方自治体が整備・管理する道路や公園、河川や海岸を、地域住民と自治体とが協力して「わが子同然に」大切にケアをし、維持していく、清掃活動を中心とした「まち美化プログラム」です。



提供:グリーンバレー  
1989年にアメリカで大南が見た看板(左)。1998年アドプト開始時に神山に建てた看板(右)。

## ▲ 前例なしで課題が山積み。 でもやってみる！

グリーンバレー (GV) の元理事長である大南信也氏が1989年6月、サンフランシスコ郊外のフリーウェイで偶然「アドプト・ア・ハイウェイ (Adopt a Highway)」の看板を発見、プログラム内容に深く共感しました。大南はその熱い想いで神山町民を巻き込み、神山で日本で初めて、町民主体のアドプト・プログラムをスタートさせます。

「神山町国際交流協会」は1997年、神山を「クリーンでグリーンな芸術家村」にしようと、できない理由より、できる方法を!／Just Do It!の「グリーンバレーウェイ」しながら、町民と自治体、民間団体がひとつになって自分たちの考えた「芸術家村構想 (芸術)」と「アドプト・ア・ハイウェイ (環境)」を徳島県の「とくしま国際文化村構想」に提案し、採択されます。こうしてそれぞれのプログラム、「アドプト・ア・ハイウェイ」(1998年～)と「神山アーティスト・イン・レジデンス」(1999年～)は、開始以来20年以上休むことなく、町民の手によって運営され、神山の土台となっています。



10年前に最初に神山にサテライトオフィスを開いたSansan株式会社の方、健一さん(神山オフィス)も常連さん。

徳島県全体では、1999年10月に「徳島県OURロードアドプト事業」として正式に事業を開始しました。活動はたちまち広がり1年後には県内4市町村の80数企業・団体、合計9,400人以上のボランティアが総距離90kmに及ぶ道路や河川敷を定期的に清掃しました。2012年以降、1年に平均約360団体、7,000人以上が距離にしておよそ520kmを、今も毎年アドプトし続けています。現在この活動は、全国47都道府県の各地域で盛んに行われています。  
※参考1: 徳島県公式サイト「徳島県OURロードアドプト事業について」  
※参考2: 公益社団法人 食品容器環境美化協会「アドプト・プログラムとは」  
※参考3: あしたの日本を創る協会「ふるさとづくり2001」(2000年12月2日発行)「ふるさとづくり大賞 内閣総理大臣賞」

## ▲「ニコライさん」って？

神山町鬼龍野 (おろの) 出身の河野公雄 (かわのきみお) さん (「ニコライさん」はニックネーム)。GV発足時からの初期メンバーで、後に事務局長を務めました (2011年～2016年)。今はアドプトと森づくりのメイン担当、KAIRの実行委員です。

## ▲ ニコライさんとアドプト

「私は1999年頃からアドプトに関わり始めました。最初は一参加者だったのですが、GV事務局長になってからは、メイン担当に。

アドプトは、基本的に偶数月に1回、週末の午前10時～11時半に行っています。日程が決まったら独自の250人のメーリングリストで呼びかけ。メールだけじゃ弱いんで、コアなメンバーにはお電話したりもします。「イン神山」にも掲載する時もあります。



養瀬トンネル脇の旧道をなごやかにごみ拾い。神山アドプト発祥の地。

参加人数は多い時で、20名、少ない時で5、6人。平均10人弱くらい。その時集まった人数でやります。

アドプト (ごみ拾い) は、鬼龍野 (おろの) 立見峠から、

養瀬にかけて5、6kmが正式なGVの担当エリアです。国道438号線の「新府能トンネル」の中や、「養瀬トンネル」の中もやります。トンネルの中は意外にごみが多いのです。暗い所にごみを捨てたいのが人間の心理なんです。危険度が増すので注意するし、追加で傷害保険もかけています。



コロナウィルスの影響で花見観光客が例年より少なく、この日(2020年4月18日)のごみも少なかった。

これまで参加してくれている人は、地元町民は元より、城西高校生や、子ども達、神山塾生、徳大生、都会から仕事で来ている人、県内外や海外からの旅行者、滞在アーティストなど。どなたでも参加可能です。

ごみ拾いに関する高い理想や理念って、持って1、2年だと思います。本当はみんなが進んでやりたいことではないよね。だから、おしゃべりしながら楽しく、見つけたごみを拾いましょう、というのがちやうどいと思っています。さっと集まって、さっと解散する。そんな気軽さが、神山のアドプトが20年以上長続きしている秘訣かな。」

落ちているごみは...

・空き缶、ペットボトル、コンビニやスーパーなどのお弁当のプラスチック容器、お菓子箱や包装したプラスチック、雑誌、空き瓶など。

・時々、タイヤ、鉄くず。おむつがあった時は困りました。

・ほとんどが「可燃ごみ」と「不燃ごみ」となる

ー可燃ごみ (紙屑、プラスチック、ペットボトル、衣類など)  
ー不燃ごみ (空き缶、空き瓶など)

・アドプトで拾ったごみは雨水や泥で汚れていてほとんどリサイクルはできない。

## ▲ ニコライさんが伝えたいこと

「自分の家の周りだけきれいにして、自分以外の家の庭や街並みが美しくなくても放っておくのはどうかと思う。町全体がきれいであることが重要だと思います。

人間って汚いところにいるよりきれいなところにいる方が好きでしょう?自分たちで自分たちの出したごみを処理をして、いつも身の回りをきれいにするのは、特にこれからは自然や地球のことを長期的に考えると良いんじゃないかな?って思いますね。

大きな規模の話、例えば“海洋プラスチック”の問題は、本当になんてことだ...って思う。どうやったら解決できるんだと。伝教大師様の言葉に“一隅を照らす”というのがあります。自分が関わっているところで、自分ができる範囲で実践する、それが積み重なっていく。小さくても自分ができることをやる、ということが大事だと思っています。」

## 参加者とアドプト

もう20年にもなるのかな、最初は神山に用事があって来た時に、大南さんやニコライさんがごみ拾いよんを見かけたところから活動を知りました。僕が参加し始めたのはその後、アドプトが始まって1～2年経った頃からだったように思う。アートのことやITのことはようわからんけど、僕みたいに年寄ったもんにも気安く参加できるんがいいね。僕もなかなか毎回はよう来んけど、若い人や、外国人の人もおったりして、皆でごみを拾うことがある意味当たり前のように続いていることがおもしろい。これから比較的年配者でも参加しやすい雰囲気であって欲しい。

(アドプト常連参加者の 楠木俊治さん)



提供:グリーンバレー

## 好きなコトバ

### 「pretend (ふりをする)」

ポジティブに建設的に自分の脳をだますこと。ごみ拾い楽しいな!とか、小さなことでも積み重なって大きな効果が出る!とか。自分の脳って自分の「言葉」に結構だまされるもんですよ(笑)



## ニコライさん流 アドプトABC

**A**menity  
心地よさ、快適さ、楽しみ  
**B**eautiful  
美しさ  
**C**lean  
清潔

## 信条

「神山」の進化と  
向上に貢献する。

参加してみたい方へ: どなたでも参加できます。興味をお持ちいただけましたらメールにてお問い合わせください。メール: greenvalley@in-kamiyama.jp

## 続けることが一番重要。そしてそれをみんなで楽しむこと！

